

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を明文化し、毎週朝礼で全従業員で唱和を行っている。会議・研修会等で経営理念の趣旨等を従業員に説明し共有している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		自社コンプライアンスプログラムをもとに具体事例・確認テスト等を活用し徹底している。朝礼や会議等で法令順守の重要性を従業員に向けて発信している。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		「コンプライアンス基本方針」「法令順守規定」のほか役員・社員が遵守すべき法令およびその事例解説等を記載した「コンプライアンスマニュアル」をもとに、周知徹底している。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		SDGs担当の責任者を任命し、事業活動が社会・環境に及ぼす影響を把握している。朝礼や会議、研修会等で他の従業員と情報を共有している。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		屋号の商標登録をはじめ、知的財産の管理を強化している。								8.2 8.3	9									16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		お客様情報の適切な取得、利用、保管方法などについて「お客様情報管理規定」を定め、管理責任者を任命し適正な取り扱いを行っている。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		定期的にアンケートを実施することでお客様の声を収集・集計し、その結果を企業活動に反映させている。お客様アンケート結果・お客様の声PTの考察からの業務改善を行っている。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8	10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		自社のBCPマニュアルを策定し、訓練などを行っている。また、隨時見直しを行っている。								9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		「MS&ADインシュアランス グループ 人権基本方針」をもとに定期的に人権研修を実施して、周知徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		仕事の見直し・効率化を定期的に行い、残業時間の削減を実施するとともに、業務中の自動車事故を防ぐため、朝礼等で交通事故等への注意喚起や健康増進への取組みの促進を行っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		パートタイム労働法、労働契約法等、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					5.5			8.5	10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		月1有給取得の推進・在宅勤務の活用等により、働き方の見直しを定期的に行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		定期的に社内研修を実施している。また、社外研修にも積極的に参加させており、教育訓練の機会を従業員に提供している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康支援室を活用し、健康診断結果や再検査等の管理を徹底している。朝礼等で交通事故等への注意喚起や健康増進への取組みの促進を行っている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		社内研修のWEB会議化等を実施している。事務所や会議室の窓開けを徹底している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		AIを導入した業務管理システム「MS1 Brain」の責任者を任命。「MS1 Brain」を多大に活用し、その結果を企業活動に反映させたり、リモート手続きを推進している。また、「ご契約者様専用ページ」の活用を推進している。								8	9.1		11	12						
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●						3	4				8	9		12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)															
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		デジタルの活用によるペーパーレス化、裏紙の利用を促進し、紙使用量削減に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1	
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		営業担当のガソリン使用量を把握し、デジタル(リモートワーク、Web会議等)を活用した移動時間の削減によるガソリン使用料の削減に取り組んでいる。また、電気使用量を把握し、残業を抑制することなどで電気使用量の削減に取り組んでいる。						7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		23で把握したガソリン使用量や事業所の電気使用量を基に、簡易計算シートを用いてCO2排出量を把握し、営業社員にアイドリングストップを推進する等の対策でCO2の削減に取り組んでいる。		2.4			7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		「MS&ADインシュアラントグループ 環境基本方針」において主要課題の一つに「生物多様性の保全」を掲げ、取り組みを推進している。				6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		デジタルの活用によるペーパーレス化、裏紙の利用を促進し、紙使用量削減を推進している。 再生用紙の利用を推進している。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		毎年白川沿いの清掃を行うなど、環境汚染、水質汚染に配慮した対応を実践している。		2.4		6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		保険証券や保険約款のペーパーレス化(eco保険証券、Web約款)を導入するなど紙の使用量削減に取り組んでいる。自動車リサイクル部品の活用促進し、環境負荷軽減に取り組んでいる。						9.4			12.4 12.5	13	14	15				
環境	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2		6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		MS&ADインシュアラントグループ環境方針において、主要課題として持続可能な資源の利用を掲げ、森林認証紙の利用推進等、各種取組を行っている。			6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●					6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		内務担当には公共交通手段を利用を促進している。						9.4			11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13			17.2		

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		迅速・丁寧・正確なお客さま対応による高品質な損害サポート、お客さま向けサービスを実現すべく、優良DL・整備工場との間でネットワークを構築し、事故や車検、車両購入時等にお客さまに漏れなく優良なDL・整備工場を紹介できる仕組を構築している。				3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		障がい者や高齢者のお客さまへの対応マニュアルを策定し、より丁寧な対応を行っている。									9.1	10	11.7						17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●							7							12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		事故のない快適なモビリティ社会を構築すべく、ドラレコのニーズ喚起や高齢者ドライバー対策を実行している。また、災害時の迅速な保険金お支払いを目的としたWeb事故受付を開発し、活用推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		毎年白川沿いの清掃を行うなど、社会貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		BCPマニュアルをもとに定期的に避難訓練を行っている。 事業所において、防災グッズを常備している。 従業員にハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		スマホ向け無料アプリ「スマ保 災害時ナビ」の無料提供や、グループ会社であるMS&ADインターリスク総研と共同して各種リスクソリューションサービスを提供している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		企業向け火災保険付帯サービス「気象情報アラートサービス」や、グループ会社であるMS&ADインターリスク総研と共同して各種リスクソリューションサービスを提供している。									9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		熊本県内でのSDGs普及活動を積極的に展開し、MS&ADインシュアランスグループと共同して、個別アドバイス等を実施し、本質的なSDGsの理解の普及に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場連携授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		インターシップの受け入れを実施している。				4					8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4					8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。